

## 災害時健康サポーター 研修会で40人役割学ば

知 多

知多市災害時健康活動サポーター研修会が6日、市保健センター（新知）であり、約40人がサポーターの担う役割などを学んだ。写真。市は看護職などの資格を生かし、災害時に避難所などで衛生環境の保持や避難者の健康、負傷者の応急救護などに協力する人をサポーターとして委嘱している。本年度は4人が加わり、1日現在61人が登録している。

講師を務めた日本福祉大看護学部の新美綾子教授は「災害時のサポーターの役

割は大きい。今後も数を増やし、災害に備えていきたい」と語った。本年度からサポーターに加わった鍼灸マッサージ師の資格を持つさんは「避難所ではエコノミークラス症候群の危険性が高まる。自分の知識を生かし、災害関連死を少しでも減らしていきたい」と話していた。

